

ありかわ喜石材新聞

お彼岸の中日に、三男坊とお墓参りへ行ってきました。まず、お盆にお参りできなかった母方の祖父母のお墓へ。ここには長男、次男を可愛がってくれた叔母も一緒に入っています。私がデザインしたお墓に、長男が小学1年生の時に書いた「ありがとう」の文字が刻まれています。三男坊は会ってほ



せんが、「感謝」と言うと手を合わ

せて一礼をしていました。そしてお盆には花火で盛り上がった有川のお墓へ立ち寄り、お墓参りは無事終了しました。ご褒美に昼ご飯は初の二人での外食、大好きなゲームセンターにも立ち寄り、三男坊との充実した一日でした。ご先祖様とのつながりを感じる中で「感謝」の心を育み、「ありがとう」という心を抱いてほしい。それが、日々を生きていく力に変わるようにと願っています。

知って いますか? 10月の記念日

●10月21日は「早稲田大学開校記念日」です。現在の早稲田大学の前身である「東京専門学校」が、1882年(明治15年)のこの日に政治家大隈重信によって設立されました。設立から20年後には、現在の「早稲田大学」へと改称されています。

大正時代に入ると大学令に基づく大学となり、慶應義塾大学とともに日本で最初の私立大学となりました。



■発行者: 有川喜(ありかわき)石材店

有川 佑樹 (ありかわ ゆうき)

昭和57年6月 下五島生まれ。
家族は妻、長男(高2)、次男(中1)、三男(3歳)の5人家族、両親も健在です。
父(社長)のもと仕事をしています。
(一社)全国優良石材店の会 認定店。
(一社)日本石材産業協会
長崎支部所属

海陽高(旧五島商)時代はサッカー部、ディフェンス担当でした。最近では地元ソフトボールチームで汗を流しています。仕事と同じくらい釣り好きです!!



(有)有川喜石材店 TEL:0959-72-2457

長崎県五島市三尾野3-6-1

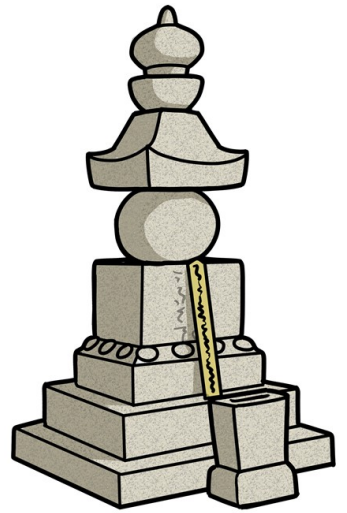


～お墓・仏事のミニ知識～



★兄 秀吉を支え続けた名補佐役が眠る「大納言塚」

大河ドラマ「豊臣兄弟」で注目を集めている豊臣秀長は、豊臣秀吉の実弟として天下人である兄を陰から支え、政務や諸大名との調整役として力を発揮しました。その秀長のお墓として知られているのが、奈良県大和郡山市にある大納言塚です。病のため52歳で亡くなった秀長は、当初は居城の大和郡山城近くに葬られましたが、その後墓所が荒廃。江戸時代中期に地元の人々の協力によって五輪塔が再建され、現在の大納言塚となりました。今日の大和郡山の礎を築いた、名君としても知られる秀長。大納言塚は、秀長が今なお多くの人に敬愛されていることが感じられる場所でもあります。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

インドの世界遺産タージ・マハルは、時の皇帝が亡き妻のお墓として作られたとされています。建築上、どのような特徴を持っているのでしょうか？

- ① 5階建てである
- ② すべてコンクリートで作られている
- ③ 完全な左右対称である

ヒント

唯一、棺を安置している場所だけがこれに当てはまらないとされています。



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。